

成果指標				
成果指標	相談件数(支給決定に至ったものも含む。)			
指標設定の考え方	支給件数の純増を指標とするには、人倫上問題があるため、制度の周知も含めた自立支援医療費支給制度に関する相談件数の純増を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標28年度
目標	80	80	80	80
実績	79	84	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>本事業の対象者は増える一方である。保健センターなども連携して予防の大切さを訴える必要がある。患者の中には、受給者証の提示をしない方もいて、本制度が十分に活用されていないケースも見られる。受給者証の交付時などに、十分な啓発をして、本制度がきちんと機能するようにする必要がある。医療機関についても、本制度への理解を深め、本制度を活用するよう求めていかなければならない。会計検査の指摘事項については、過去はもちろん。今後の請求についても適切に行うよう、点検・指導を行っていく。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>更生医療のうち、心臓疾患や透析患者が増えている。手帳を取得し、医療費助成を受けながら在宅で生活ができるように支援することは意義のあることであるが、手術費用や透析にかか外来費用など高騰する一方である。普段から健康に留意し、重症化する前の予防の大切さを発信しなければ、事業の効果は評価できない。昨年度に引き続き、特定疾病受給者証保持者の更生医療請求のレセプト点検と過誤請求指導を行い、適正な給付に努める。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	受給対象者並びに関係機関に対する制度周知を図り、適用漏れがないよう徹底を図る。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。